«上尾かしの木特別支援学校の活性化・特色化方針»

種別	知的障害	学部・学科	小学部・中学部・高等部	R8.5.1 児童・生徒数	(男) ３１０ (女) １１９	計４２９
アクセス	① ＪＲ上尾駅東口よりバス 10 分、「西原」下車徒歩約５分 ② 新交通システムニューシャトル志久駅より徒歩約 20 分 ③ ＪＲ蓮田駅西口よりバス 20 分、「総合福祉センター前」下車徒歩約５分					

＜教育課程等＞

学習指導要領をもとに、本校の実態に即して作成した教育課程の指針「かしの木学習プログラム」を活用して年間指導計画を編成し、系統性のある授業づくりを行っています。

- ◆ 小学部　一般学級と重複学級の２種類の課程　クラスを越えた課題別グループ編成での学習有。
- ◆ 中学部　一般学級と重複学級の２種類の課程　クラスを越えた課題別グループ編成での学習有。
- ◆ 高等部　１年生は重複と一般の２種類の課程　クラスを越えた課題別グループ編成での学習有。
  ２・３年生は重複学級と一般学級を２つの異なる過程で編成し、生徒の力を最大限伸ばすことができるようにします。

＜学校行事・部活動＞

- ・ 遠足（小・中）　社会体験学習（小・中・高）　職場見学（高）
- ・ 校外宿泊学習（小４・小５・中２・高２）
- ・ 修学旅行（小６・中３・高３）
- ・ 運動会（５月　小低・小高・中・高にわかれてそれぞれ開催）
- ・ かしの木祭（１１月小低・小高・中・高に分かれて、それぞれ開催。
  一般公開日には、児童生徒の発表・展示・作業製品販売を実施）
- ・ 持久走大会（中・高）
- ・ 高等部部活動（陸上競技・バスケットボール・サッカーの各特体連大会に参加）

＜家庭・地域との連携＞

コミュニティ・スクールを導入し、児童生徒が地域社会の中で豊かな人間関係を築き、自立して生きていく力を育むため、「地域等との協働的な取組」を推進しています。

＜取組例＞

- ◆ 小学部　買い物学習、児童制作のカレンダー配布、県警音楽隊鑑賞会、詩の授業、ユニセフ教室
- ◆ 中学部　地元イベント等での作品展示・販売、企業等とのコラボレーション、人形絵付け体験
- ◆ 高等部　地元イベント等での作品展示・販売、地域の清掃活動、国際交流、出前講座　等

※学校間交流　地元の小中学校、及び近隣の高等学校と交流会を実施

＜進路＞

・生徒一人一人の自立と社会参加に向けて、各学部において段階的な指導を行っています。

・高等部では２年生から産業現場実習を行い、卒業後の進路に直結する実践的な力を養います。

・事業所合同説明会等を実施し、生徒の卒業後の進路先の確保や新規開拓を図っています。

・デュアルシステムとして、企業就労を目指す高等部生徒が地元企業で就労体験を行っています。

＜卒業生の進路状況＞（令和７年度卒業生４８名）

一般就労（企業等）１名、職業訓練校　１名、福祉就労（通所福祉事業所等）４４名
在家庭　２名

2　育成方針

埼玉県立上尾かしの木特別支援学校　～児童生徒の成長物語～

本校の特色

◇　学校教育目標　　『わかる』こと『できること』を広げ、ひとりだちする力を育む
◇　学校経営方針　　子ども第一　つなぐ　学ぶ　羽ばたく
◇　目指す子ども像　　かしこく　やさしく　たくましく
◇　地域等との連携　　「コミュニティ・スクール」として保護者・地域と協働し、児童生徒の豊かな学びを支える「地域とともにある学校づくり」の推進

児童生徒の１２年間を通したキャリア発達を踏まえた一貫性・系統性のある指導・卒業後の自立と社会参加に向けた指導

小学部の目標

身辺自立の確立・人間関係の基盤形成

【低学年】
① 生活リズムを整え、たくさん身体を動かす児童
② 身近な大人や友達を意識して活動する児童
③ 身の回りのことを自分でやろうとする児童
④ 自分の意志や要求を伝えようとする児童
⑤ お手伝いをしようとする児童
⑥ 様々な活動を経験し、好きなことや楽しいことを増やす児童

【高学年】
① 健康や安全に気を付け、丈夫な身体を作る児童
② 身近な集団を意識して、一緒に活動する児童
③ 見通しを持って活動したり、活動を振り返ったりすることができる児童
④ 基本的な生活習慣を身に付け、自分のことは自分でできる児童
⑤ 係の仕事を進んでやろうとする児童
⑥ 興味関心を広げ、様々な活動に自分から取り組む児童

中学部の目標

社会生活能力と自己表現力の育成

① 健康や安全に関心をもち、自分から身体を動かす生徒
② 友達や大人とのかかわりを深め、協力して集団生活のおくれる生徒
③ 自分の役割を意識し、自分でやりとげようとする生徒
④ 働くことの楽しさを知り、働くことに関心や意欲をもてる生徒
⑤ 豊かな体験のなかで、好きなことや楽しいことをみつけられる生徒

高等部の目標

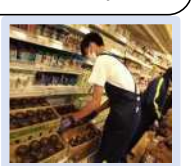
社会生活能力の確立と自己選択・自己決定力の育成

① 健康で安全に生活する力を身につける生徒
② 社会の中で必要な、豊かな人間関係を築く生徒
③ 集団の中で自己の役割を理解し、責任を持って努力できる生徒
④ 社会生活に必要な知識や技能を身につけ、生活の中で活用できる生徒
⑤ 生涯を通じた楽しみを見つけることができる生徒

特色ある取組①

地域等との連携（コミュニティ・スクールの取組）

○ 学校運営協議会の開催
関係機関、地元自治会等の外部委員８名、年３回開催
○ 地域等との協働の取組
デュアルシステム（高等部就労体験）
地元自治会・企業等における作品展示、
地域の清掃活動、地元イベント等での作品展示・販売、
国際交流、地元企業等とのコラボレーション　等



特色ある取組②

実践の共有と授業改善への取組

○ 臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士による指導助言、実践的な職員研修と授業改善
○ １人１台端末を活用した各教科等の充実
○ 指導内容等のプランニングシートの活用
○ 学部コーディネーターと支援情報の共有

特色ある取組③

防災への取組と保護者との連携

○ 防災教育に関する指導の年間計画に基づき各学部で系統的な指導
○ 学校と連携したＰＴＡ活動等
親子防災体験、防災研修、保護者向け研修、
企業等見学会、広報誌の発行、給食試食会
美化活動（除草、ガーデニングボランティア）
○ 授業参観、保護者アンケートの実施
○ 通信や通知等を学校HP上で情報配信